

第382回 昭和大学学会例会（薬学部主催）

日時 2022年6月18日（土） 9:25～12:40

場所 昭和大学上條講堂

1. 小児インフルエンザ患者を対象とした抗菌薬の自宅における残薬に関する実態調査—医療ビッグデータを用いた横断研究—

- ¹⁾ 昭和大学薬学部病院薬剤学講座
- ²⁾ 昭和大学病院附属東病院薬局
- ³⁾ 昭和大学病院薬剤部
- ⁴⁾ 昭和大学薬学部臨床薬学講座医薬品適正使用学部門

守屋賀奈絵^{1,2)}, 百賢二¹⁾
小林麻美^{1,3)}, 田中広紀^{1,2)}
佐々木忠徳⁴⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

2. 高グルコース処理不死化シュワン細胞に対する *Stachybotrys microspora* triprenyl phenol (SMTP)-44D の可溶性エポキシドヒドロラーゼ阻害作用を介した抗酸化作用および抗炎症作用の検討

- ¹⁾ 昭和大学薬学部基礎医療薬学講座薬理学部門
- ²⁾ 昭和大学薬理科学研究センター

篠内良介^{1,2)}, 柴田佳太^{1,2)}
野部浩司^{1,2)}

【発表内容掲載論文】

Int J Mol Sci. 2022;23:5187.

3. ヒト単球由来ランゲルハンス細胞様樹状細胞 (Mo-LC) の機能的で最適な *in vitro* 生成法の確立

- 昭和大学薬学部臨床薬学講座臨床病態学部門
高橋玲, 谷岡利裕
前田耕平, 磯崎健男

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

4. 癌細胞における呼吸鎖機能 (NAD⁺産生) による細胞増殖制御機構の解明

- ¹⁾ 昭和大学薬学部基礎薬学講座腫瘍細胞生物学部門
 - ²⁾ 昭和大学共同研究施設遺伝子組換え実験室
- 日暮大渡¹⁾, 森一憲¹⁾
石川文博²⁾, 柴沼質子¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

5. カペシタビンの体内動態と *ABCC4* 遺伝子多型との関連

- ¹⁾ 昭和大学薬学部臨床薬学講座がんゲノム医療薬学部門
 - ²⁾ 昭和大学医学部内科学講座（腫瘍内科学部門）
 - ³⁾ 昭和大学横浜市北部病院内科
 - ⁴⁾ 昭和大学江東豊洲病院内科
- 松本奈都美¹⁾, 久保田祐太郎²⁾
角田卓也²⁾, 石田博雄³⁾
嶋田顕⁴⁾, 藤田健一¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

6. 小児患者の外来処方せんに対する保険薬局からの疑義照会の内容と傾向

- ¹⁾ 昭和大学薬学部病院薬剤学講座
²⁾ 昭和大学江東豊洲病院こどもセンター
米澤 夏里¹⁾, 江 島 麗¹⁾
磯 崎 遥¹⁾, 阿部 祥英²⁾
田中 克巳¹⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

7. 昭和大学江東豊洲病院において、末梢静脈栄養が栄養状態に与える影響および使用状況に関する調査

- ¹⁾ 昭和大学薬学部病院薬剤学講座
²⁾ 昭和大学江東豊洲病院薬剤部
³⁾ 昭和大学江東豊洲病院脳神経外科
越塚 宏美^{1,2)}, 百 賢 二¹⁾
伊藤 綾花^{1,2)}, 柏原 由佳^{1,2)}
田中 克巳¹⁾, 池田 尚人³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

8. 上皮成長因子受容体遺伝子変異陽性の高齢非小細胞肺癌患者におけるゲフィチニブの体内動態

- ¹⁾ 昭和大学大学院薬学研究科薬学専攻病院薬剤学
²⁾ 昭和大学医学部内科学講座（腫瘍内科学部門）
³⁾ 昭和大学薬学部臨床薬学講座がんゲノム医療薬学部門
⁴⁾ 昭和大学医学部内科学講座（呼吸器アレルギー内科学部門）
仁尾 祐太¹⁾, 石田 博雄²⁾
松本奈都美³⁾, 楠本壮二郎⁴⁾
久保田祐太郎²⁾, 角田 卓也²⁾
佐々木康綱²⁾, 藤田 健一³⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

9. 造血幹細胞移植患者に生じる手足症候群とその発現リスク因子の探索

- ¹⁾ 昭和大学大学院薬学研究科薬学専攻教育実践学
²⁾ 静岡県立静岡がんセンター薬剤部
³⁾ 昭和大学薬学部薬学教育学講座教育実践学部門
糸 哲雄^{1,2)}, 亀井 大輔³⁾
田中佐知子³⁾

【発表内容掲載論文】

Support Care Cancer. 2022;30:1539-1546.

10. 脂質異常症患者に対する薬局薬剤師のルーブリックを活用した介入プログラムと介入効果～ランダム化比較試験～

- ¹⁾ 昭和大学大学院薬学研究科薬学専攻薬物治療学
²⁾ 昭和大学薬学部臨床薬学講座薬物治療学部門
³⁾ 昭和大学医学・医療振興財団
⁴⁾ 田辺薬局株式会社
植木 久輝^{1,4)}, 大林 真幸²⁾
山元 俊憲^{3,4)}, 井上 剛⁴⁾
向後 麻里²⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定

11. 病院薬剤師の成長を刺激する因子に関する量的・質的研究

—因子分析と修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) を用いて—

- ¹⁾ 昭和大学大学院薬学研究科薬学専攻教育実践学
²⁾ 昭和大学薬学部病院薬剤学講座
³⁾ 昭和大学薬学部薬学教育学講座教育実践学部門
⁴⁾ 昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座
⁵⁾ 医療法人鉄蕉会亀田総合病院薬剤部
⁶⁾ 昭和大学薬学部臨床薬学講座医薬品適正使用学部門
竹 安 葵^{1,2)}, 田中佐知子³⁾
小林 如乃⁴⁾, 加藤 里奈³⁾
山本 仁美³⁾, 小林 文³⁾
北原加奈之⁵⁾, 百 賢 二²⁾
佐々木忠徳⁶⁾

【発表内容掲載論文】

投稿中または今後投稿予定